

浩友会だより

発行：遠藤ひろし後援会（浩友会）代表 山村正樹
事務所：市川三郷町市川大門 127番地 電話：055-272-0153
ホームページ：http://www.enyo.co.jp/koyukai/
メール：koyukai@enyo.co.jp

遠藤ひろし議員



議会報告

9月議会は、9月5日から14日まで10日間の会期で開かれました。提出された議案は、平成16年度一般会計・特別会計決算の認定など15議案でした。

9月議会

いずれも原案どおり承認、認定、可決されました。なお、市川大門町としては最後の定例議会であり、厳粛なうちに閉会いたしました。

ごあいさつ

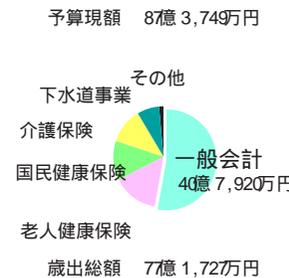
虫の声も一段と澄みかわり、ご尊家皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別なるご厚情をたまわり厚く御礼申し上げます。注目の衆議院総選挙も国民の審判がくだり、行財政改革が強力に押し進むめられていくものと考えます。株式会社の農業参入解禁、団塊世代の地方での創業資



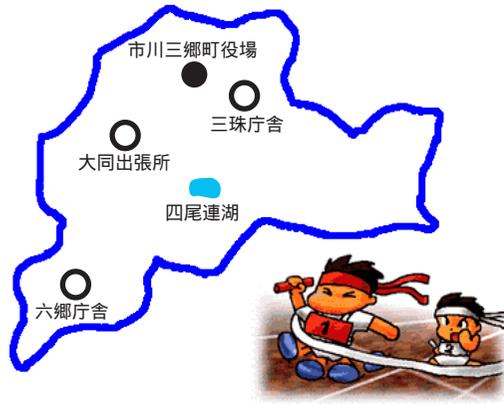
金の支給方針など、地方経済の発展に向けた新たな政策が始まっています。一方、2007年のNHK大河ドラマに本県ゆかりの「風林火山」が決まり、県内の観光振興に期待の高まるところでございます。さて、このたびの9月定例会は、市川大門町最後の平成16年度決算認定が中心となりました。少子・高齢化、人口減社会へと、新たな時代に向かうなか、今回の問題点と課題を新町・市川三郷町で活かせるよう取り組んでいきたいと考えます。一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

決算の認定

一般会計ならびに特別会計を合わせた歳入歳出の予算現額は87億3,749万円でした。公債費負担比率は、昨年より下回り、起債制限比率も下回っています。経常収支比率は上回り、より一層の経費節減を図ること。上水道事業会計では、厳しい経営状況が予想されることから、早急に料金改定の検討をすること。病院事業会計では、医師の確保に努力するとともに、より効果的な事業運営に努めること。など監査委員からご指摘を受けています。



市川三郷町での取り組み



まず行なわれる議会構成につきましても、旧町単位の枠組みに固執することのないよう努め、市川三郷町のスタートがしこりを残さないよう臨みます。在任特別の任期期間中に付きましては、1回目の議員選挙の議員定数や期間などの議論、新町建設計画に基づく継続事業など町の方性の確認、旧町の枠組みの固定概念払拭など特別期

間中にしなければならぬ議員の任務を痛感し取り組んで参ります。議員活動につきましても、任期の期間中は、2年6ヶ月の市川大門町議会議員の経験を活かし、引き続き活動をしたいと考えています。



問題点/課題

まちづくり

町民主動のまちづくり町は町民のもの、町民が主体に活動し形成します。街なみ整備事業の推進自然との調和や地域性を活かした事業を推進します。

産業の振興

農業振興施策の推進新規就業支援、耕作放棄地解消などを推進します。地場産業活性化施策研修、開発、交流事業への支援など取り組みます。観光振興施策観光資源の整備、PR、観光客誘致に取り組みます。商業活性化施策商工会の活用、商店街の活性化など取り組みます。

教育と文化

教育改革 地方分権に基づき、地域の実状に合った教育の展開の環境を整備 教育環境 全ての子どもが平等に教育を受けられる環境の整備 基礎学力向上への支援 地域の学力向上と個性を育む教育への支援。

福祉と環境

歴史、文化の継承 地域の歴史や文化などを学び、資料の継承など。子育て支援事業の推進 真の子育て支援のため、体制と拠点の充実整備。安心、安全、防災対策 通勤、通学等安全な道路環境の整備など対策の強化 健康づくり拠点整備 健康増進、保養施設など健康のための拠点整備。

病院と医療

小児救急の体制確立 体制の周知、情報、搬送システムなど体制確立。地域医療の充実 町立病院を核とした医療体制、医療の専門、高度化。

道路整備

狭あい道路拡幅整備 生活上、防災上拡幅は急務、住環境整備と共同歩調。役場前道路南進 防災、街並みなど重要なシンボルの事業として推進。

人口対策

町営住宅立替え事業 通学路など周辺整備、子育て優遇制度など入居対策 団塊世代の誘致支援 低価格住宅、農地付住宅など誘致活動と定住化支援。